

10. 【一年次研究授業】 (2020年2月)

【2年1組 授業者 栗木陸行 (学習活動ソフトウェア SKYMENU)】

令和元年2月7日に、一年次の公開授業を行いました。

「新しい形の指導案」、「学習活動ソフトウェア SKYMENU を使った効果的な指導方法」、「伏山 STEPS(低学年の情報カリキュラム)」、「タブレットの使用方法」について提案させていただきました。

「新しい形の指導案」は、伏山 STEPS との系統性・ICT の活用・ユニバーサルデザイン合理的配慮の授業作りとの関連性などを踏まえた内容になっています。

本時では国語の「ようすをあらわすことば」を学習活動ソフトウェア SKYMENU を用いて授業を行いました。さまざまな様子を表す言葉について知り、言葉への興味を広げさせ、語と語のつながりに注意して、文を書く力をつけることが目標です。



・学習支援ソフト (SKYMENU Class) 機能を使って、児童の入力状況を教師用タブレットで一覧表示しています。
・児童が記入したワークシートを大画面で提示したり、比較しています。



・ペアでの話し合い活動が円滑になるツールとしてタブレットとタッチペンを使う

どのように I C T 機器を取り入れて情報活用能力を育んでいくのか。効果的なタブレットの活用方法とは。学習指導要領全面実施まであと2か月。一人一台タブレット環境で子どもたちに育みたい力を考えます。

Society 5.0 時代を生きぬく子どもたちの育成

伏山ってええやん！

～ペアで、グループで、みんなで、話し合い 問題解決する力をつける～

富田林市教育委員会研究委嘱
富田林市立伏山台小学校研究発表（1年次）
令和2年2月7日(金)

13時30分～受付

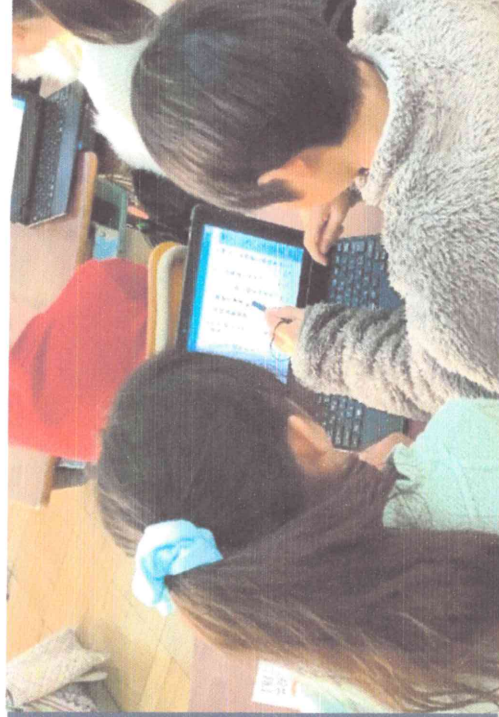
13時45分～公開授業 2年1組

伏山ってええやん！は…

伏山ってええやん！という総合的学習・生活科では、プログラミングを使って地域とかかわり、つながることで見えてきた課題を解決したり、魅力や良さを発信し伝えます。この学習を通して、地域の人に感謝し、ふるさと伏山を大切に思う心が育てばいいと願っています。

今年度実施の地域連携授業

- ・伏山の竹で水鉄砲をつくらう
- ・だんじりをみにいこう など



一年次の公開授業は…

上記にあけた情報活用能力の育成にむけて、I C T 機器を取り入れた授業を提案します。本校2年生の子どもたちは、タブレットを手にしてどんな主体的で協働的な学びをみせてくれるでしょう。参加されるみなさんぜひ楽しんでください。



伏山STEPS… 情報活用能力5つの要素

S (スキル)

基礎的な知識・技能を身につける。

T (ツール)

収集した情報を精査し比較分析する。

E (エクスプローラ)

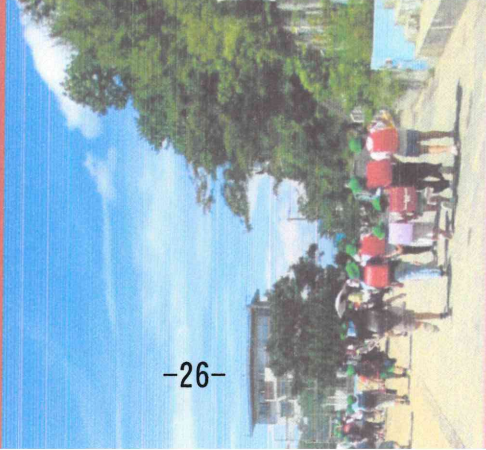
自分の考えをまとめ、表現し発信する。

P (プログラミング)

コンピューターの特性を活かし問題解決する手順を理解する。

S (セキュリティ)

安全かつ適切に I C T 機器を活用する。



伏山台小学校

富田林市伏山2-1-1
TEL 0721-28-4106
嶋 0721-28-6823



<https://www.city.tondabayashi.lg.jp/site/fusi>
abayashi.lg.jp/site/fusi

第2学年 国語科 学習指導案

富田林市立 伏山台小学校
授業者 栗木 陸行

1,日 時 令和2年2月7日(金)第5時限(13:45～14:30)

2,場 所 第2学年1組教室

3,学年・組 第2学年 1組 27名

4,教材名 「ようすをあらわすことば」

5,単元目標

○さまざまな様子を表す言葉について知り、言葉への興味を広げることができる。

○語と語のつながりに注意して、文を書くことができる。

6, 伏山 STEPS との系統性

S:スキル	A1:コンピュータの取り扱い
	A2:マウス、キーボード、タッチペンの使い方
	A3:学習活動ソフト(スカイメニュー)の操作
	A6:カメラ機能の操作
E:エクスプローラ	B4:情報の発信

7, 単元の評価規準

【関】様子を表す言葉に興味をもち、さまざまな表現を探そうとしている。

【書】様子を表す言葉を適切に使って、つながりのある文を書いている。

【言】三種類の様子を表す言い方を知り、その使い方を理解している。

8, 指導計画(全4時間)

1	①「ようすをあらわすことば」を音読する。 ②教科書の写真を見て、雨の様子にぴったりと合う言葉をタブレットに書いて発表する。
2	③同じ写真でも様子を表す言葉はさまざまあることを知る。
3 本時	④様子を表す言葉を他にも見つけ、それらを使って短文を作ったり 紹介しあったりする。 ⑤擬態語、形容詞、比喩について整理する。
4	⑥変身する言葉(カンカン、ガンガンなど)で短文を作り、紹介し合う。

9, ICT の活用

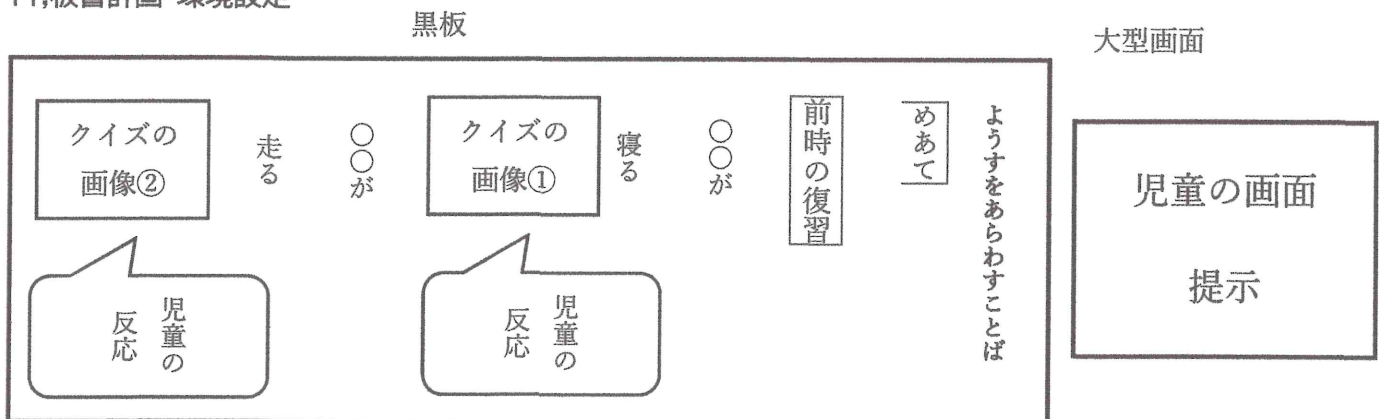
ICT 活用の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> 評価問題
ICT 活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 資料(問題等)の掲示 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で考える <input checked="" type="checkbox"/> 全体で交流する <input checked="" type="checkbox"/> 考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 学習のふりかえり <input type="checkbox"/> 評価問題を解く <input type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input type="checkbox"/> プレゼンの作成
活用コンテンツ	・SKYMENU Class(発表ノート)

10,ユニバーサルデザイン合理的配慮の授業作り(学校教育目標との関連性)

◆授業におけるナチュラルサポート(基礎的環境整備)

あ	教室環境を確認する。(机の並び方、落ちているもの、収納状況、掲示物等)
い	教科書、ノート等、必要なもののみを机の上に置いているか確認する。
う	授業のめあてを書き(貼る)、本時のポイントを明確に示す。
え	全員が静かになったことを確認してから話し始める習慣をつける。
お	板書を工夫する。(板書の量・書く位置、区切り線をつける、色の配慮等)
か	今は、「聞くととき」「書くととき」「話すととき」を区別し、同時に提示しない。
き	大切な指示や内容ポイント等の大事なところは、何度か繰り返し説明する。
く	視覚的に示すことができる教材・教具を多用する。
け	本時のポイントを復唱し、まとめ、振り返りを行う。
こ	授業の中で何度か、リスタートの場面をつくる。
さ	全体への説明や指示はできるだけシンプルにする。

11,板書計画・環境設定



本時の目標
擬態語、副詞(形容詞)、比喩のちがいに気づいて整理する。

本時の展開

準備物 SKYMENU Class

学習活動・内容 留意点	ICT 活用のポイント	ICT 活用の意図	評価規準
<p>○前時の復習をする。</p> <p>ようすをあらわすことばのクイズを考えよう</p> <p>○児童が作成した動画クイズを見て、ようすをあらわすことばを考える。</p> <p>ことばのひびきをあらわすことば どれくらいをあらわすことば たとえをあらわすことばの既習事項をもとに考えさせるようにする。</p>	<p>児童</p> <p>教師</p> <p>高学年で画像や動画を取り入れたプレゼンテーションができることを目指す</p> <p>自分のペースで、学習できる</p> <p>全員の作業状況や意見の内容を瞬時に確認でき、戸惑う児童への個別支援や大事なポイントを丁寧に説明することができる</p> <p>板書用の短冊、ワークシート等の教具・教材を事前に準備する時間が短縮できる</p> <p>視覚的に示すことで全体への説明や指示をシンプルにすることができる</p> <p>黒板に貼られた短冊での仲間分け活動は代表児童しかできないが、タブレットの使用で全員が仲間分け活動を直接体験できる。またタッチペンの操作は書き写すことが苦手な児童も主体的に学習に参加できる</p> <p>考えを書き→発表するまでの流れがスムーズに行える</p> <p>児童の考えを視覚的に表示するため聞き逃しても確認することができる</p> <p>ワークシートの配布、回収がスムーズになる</p>	<p>児童</p> <p>教師</p> <p>高学年で画像や動画を取り入れたプレゼンテーションができることを目指す</p> <p>自分のペースで、学習できる</p> <p>全員の作業状況や意見の内容を瞬時に確認でき、戸惑う児童への個別支援や大事なポイントを丁寧に説明することができる</p> <p>板書用の短冊、ワークシート等の教具・教材を事前に準備する時間が短縮できる</p> <p>視覚的に示すことで全体への説明や指示をシンプルにすることができる</p> <p>黒板に貼られた短冊での仲間分け活動は代表児童しかできないが、タブレットの使用で全員が仲間分け活動を直接体験できる。またタッチペンの操作は書き写すことが苦手な児童も主体的に学習に参加できる</p> <p>考えを書き→発表するまでの流れがスムーズに行える</p> <p>児童の考えを視覚的に表示するため聞き逃しても確認することができる</p> <p>ワークシートの配布、回収がスムーズになる</p>	<p>既習事項(教科書) さんざん...ことばのひびきをあらわすはげく...ことばのひびきをあらわすたきのよかに...たとえをあらわす</p> <p>・構子を表す言葉を使って、短文で表せているか。</p> <p>・様々な表現を探そうとしているか。</p> <p>ユニバーサルデザイン合理的配慮の授業作りの視点 授業における ナチュラサポート(基礎的環境整備)</p> <p>・言葉のひびきを表す言葉(擬態語)どれくらいを表す言葉(副詞・形容詞)たとえの言葉(比喩)のちがいに気づいて整理しているか。</p>
<p>ようすをあらわすことばをなまわけしよう</p> <p>○構子を表す言葉について、仲間分けをする。</p> <p>どれくらいをあらわすことばには、形容詞・形容動詞・副詞が含まれている。仲間とくらえにくい子どもには実態にあわせて補足説明をする。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>発表の話し型(例) わたしは、「○○はたとえをあらわすことばのなかま」と思います。なぜなら「～みたいな」があるからです。 わたしは○○さんたちが、「ひびきをあらわすことばのなかま」と思います。なぜなら「～」からです。</p>	<p>児童</p> <p>教師</p> <p>高学年で画像や動画を取り入れたプレゼンテーションができることを目指す</p> <p>自分のペースで、学習できる</p> <p>全員の作業状況や意見の内容を瞬時に確認でき、戸惑う児童への個別支援や大事なポイントを丁寧に説明することができる</p> <p>板書用の短冊、ワークシート等の教具・教材を事前に準備する時間が短縮できる</p> <p>視覚的に示すことで全体への説明や指示をシンプルにすることができる</p> <p>黒板に貼られた短冊での仲間分け活動は代表児童しかできないが、タブレットの使用で全員が仲間分け活動を直接体験できる。またタッチペンの操作は書き写すことが苦手な児童も主体的に学習に参加できる</p> <p>考えを書き→発表するまでの流れがスムーズに行える</p> <p>児童の考えを視覚的に表示するため聞き逃しても確認することができる</p> <p>ワークシートの配布、回収がスムーズになる</p>	<p>児童</p> <p>教師</p> <p>高学年で画像や動画を取り入れたプレゼンテーションができることを目指す</p> <p>自分のペースで、学習できる</p> <p>全員の作業状況や意見の内容を瞬時に確認でき、戸惑う児童への個別支援や大事なポイントを丁寧に説明することができる</p> <p>板書用の短冊、ワークシート等の教具・教材を事前に準備する時間が短縮できる</p> <p>視覚的に示すことで全体への説明や指示をシンプルにすることができる</p> <p>黒板に貼られた短冊での仲間分け活動は代表児童しかできないが、タブレットの使用で全員が仲間分け活動を直接体験できる。またタッチペンの操作は書き写すことが苦手な児童も主体的に学習に参加できる</p> <p>考えを書き→発表するまでの流れがスムーズに行える</p> <p>児童の考えを視覚的に表示するため聞き逃しても確認することができる</p> <p>ワークシートの配布、回収がスムーズになる</p>	<p>既習事項(教科書) さんざん...ことばのひびきをあらわすはげく...ことばのひびきをあらわすたきのよかに...たとえをあらわす</p> <p>・構子を表す言葉を使って、短文で表せているか。</p> <p>・様々な表現を探そうとしているか。</p> <p>ユニバーサルデザイン合理的配慮の授業作りの視点 授業における ナチュラサポート(基礎的環境整備)</p> <p>・言葉のひびきを表す言葉(擬態語)どれくらいを表す言葉(副詞・形容詞)たとえの言葉(比喩)のちがいに気づいて整理しているか。</p>
<p>○学習内容をふりかえる。</p>	<p>児童</p> <p>教師</p> <p>高学年で画像や動画を取り入れたプレゼンテーションができることを目指す</p> <p>自分のペースで、学習できる</p> <p>全員の作業状況や意見の内容を瞬時に確認でき、戸惑う児童への個別支援や大事なポイントを丁寧に説明することができる</p> <p>板書用の短冊、ワークシート等の教具・教材を事前に準備する時間が短縮できる</p> <p>視覚的に示すことで全体への説明や指示をシンプルにすることができる</p> <p>黒板に貼られた短冊での仲間分け活動は代表児童しかできないが、タブレットの使用で全員が仲間分け活動を直接体験できる。またタッチペンの操作は書き写すことが苦手な児童も主体的に学習に参加できる</p> <p>考えを書き→発表するまでの流れがスムーズに行える</p> <p>児童の考えを視覚的に表示するため聞き逃しても確認することができる</p> <p>ワークシートの配布、回収がスムーズになる</p>	<p>児童</p> <p>教師</p> <p>高学年で画像や動画を取り入れたプレゼンテーションができることを目指す</p> <p>自分のペースで、学習できる</p> <p>全員の作業状況や意見の内容を瞬時に確認でき、戸惑う児童への個別支援や大事なポイントを丁寧に説明することができる</p> <p>板書用の短冊、ワークシート等の教具・教材を事前に準備する時間が短縮できる</p> <p>視覚的に示すことで全体への説明や指示をシンプルにすることができる</p> <p>黒板に貼られた短冊での仲間分け活動は代表児童しかできないが、タブレットの使用で全員が仲間分け活動を直接体験できる。またタッチペンの操作は書き写すことが苦手な児童も主体的に学習に参加できる</p> <p>考えを書き→発表するまでの流れがスムーズに行える</p> <p>児童の考えを視覚的に表示するため聞き逃しても確認することができる</p> <p>ワークシートの配布、回収がスムーズになる</p>	<p>既習事項(教科書) さんざん...ことばのひびきをあらわすはげく...ことばのひびきをあらわすたきのよかに...たとえをあらわす</p> <p>・構子を表す言葉を使って、短文で表せているか。</p> <p>・様々な表現を探そうとしているか。</p> <p>ユニバーサルデザイン合理的配慮の授業作りの視点 授業における ナチュラサポート(基礎的環境整備)</p> <p>・言葉のひびきを表す言葉(擬態語)どれくらいを表す言葉(副詞・形容詞)たとえの言葉(比喩)のちがいに気づいて整理しているか。</p>